

Mobile Dealer 取引マニュアル

PART 1

お取引を始める前に

1-1 アプリのダウンロード

PART 2

Mobile Dealer 取引概要

2-1 ログイン画面

2-2 メニュー画面

2-3 ウォッチリスト

2-4 各マーケット画面

2-5 保有ポジション画面

2-6 リーブオーダー画面

2-7 ファインダー画面

2-8 各種設定画面

2-9 ログオフ

PART 3

取引操作方法

3-1 マーケット注文の出し方

3-2 ポジションの清算

3-3 リーブオーダーの発注方法

3-4 ストップ・リミットの付加

3-5 ギャランティーストップ

3-6 トレーリングストップの
付加

3-7 レバレッジ

3-8 保有ポジションの条件変更

3-9 両建て(ヘッジ)

PART 4

各種ツール

4-1 チャート

4-2 銘柄検索

4-3 ブラウズ

4-4 Pause Prices

<ご注意事項>

本マニュアルは携帯端末用プラットフォーム Mobile Dealer の操作をご案内しているものでお取引方法を解説するものではありません。お取引に関してご不明な点は、ウェブサイトの「お取引に関する FAQ」または PureDeal 取引マニュアルをご確認ください。

お取引を始める前に

取引システム Mobile Dealer は携帯電話用のアプリコンテンツです。

モバイル端末を使って、さらに収益のチャンスを逃さないお取引が可能です。外出時でも、リアルタイム情報をキャッチし、最善のタイミングでお取引ができます。

Mobile Dealer の特徴

- PC の取引システムと同様の注文をご利用いただけます。
- お客様のポケット通信料に配慮した機能を搭載し、ポケット定額プランのご契約をされていないお客様も安心してご利用いただけます。

アプリのダウンロード

ご利用いただくには、まず携帯電話に本アプリをダウンロードします。ダウンロード後はアプリのソフト一覧より起動させ、PC用取引システムと同じログインIDとパスワードでログインしてください。

通常の携帯電話をお持ちのお客様の場合、以下の2つの方法により取引ソフトウェアのインストールができます。

- QRコードからアクセス
- 本アプリダウンロード用ウェブサイトへ直接アクセス

ご利用の携帯電話会社、機種をご確認の上、右記QRコードまたはURLよりインストールを行ってください。



NTT Docomo



Softbank ライブ口座用



Softbank デモ口座用



ご注意

※ダウンロード・ご利用時にはパケット通信料がかかります。パケット通信は送受信データ量が多くなるほど料金が高くなります。なお、弊社アプリは接続時間が長いほどパケット通信料が加算されますのでご注意ください。

※本アプリの利用可能機種となる携帯電話であっても、携帯電話の通信状態や、通信性質（下り速度・キャリア経由のアクセス）などによってリアルタイムレートとの誤差が生じ、意図しないレートで取引が成立してしまう、または意図された取引が成立しない可能性がございます。あらかじめご理解いただきました上でご利用ください。

ログイン画面

Mobile Dealer には様々な操作画面があります。ここでは各画面の機能をご説明いたします。

STEP ①

- ログイン：ソフトキーガイドス左（S1 キー）を押下すると取引システムにアクセスします。

STEP ③

- ログイン情報の保存：チェックを入れると次回起動時にも入力したログイン情報を保存します。
チェック ON/OFF 後は S1 キー「Close」を押下しログイン画面に戻ってください。
- 各種設定：フォントサイズを小・中・大から変更することができます。初期設定は「小」とされています。
※「中」、「大」に変更してもフォントが大きくなる項目があります。
- バージョン情報：アプリの情報を表示します。
- 閉じる：アプリを終了してアプリのソフト一覧画面に戻ります。

STEP ②

S3 キー「その他」の項目

- その他：機種によっては「メニュー」と表示されます。

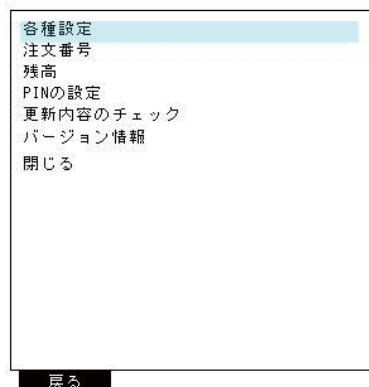
メニュー画面

ログイン後、下記のようなメニュー画面が表示されます。



STEP ①

- ウォッチリスト：PC 用取引システムと同じウォッチリストを表示します。
- 保有ポジション：現在保有しているポジションの一覧画面に遷移します。
- リーブオーダー：お客様が注文された未決注文一覧画面に遷移します。
- ファインダー：PC 用取引システムと同じく、市場から銘柄を検索できます。
- 各種設定：フォントサイズ変更と銘柄の価格表示停止の ON/OFF を設定できます。



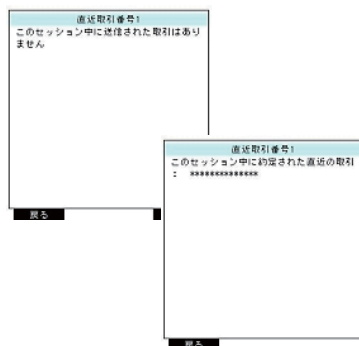
STEP ②

S3 キー「その他」の項目

- 各種設定：P6 を参照してください。
- 注文番号：ログイン中に発注した最後の番号を確認できます。

メニュー画面

ログイン後、下記のようなメニュー画面が表示されます。



STEP ③

- 残高：現在の利用可能な証拠金の残高を表示します。
- PIN の設定：パスワードの変更ができます。

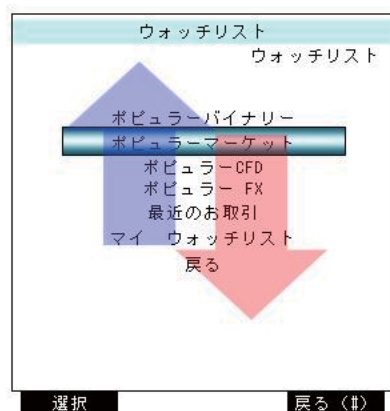


この画面でパスワードを変更すると、PC 用取引システムにログインする際のパスワードも変更されますのでご注意ください。

STEP ④

- 更新内容のチェック：アプリのバージョンアップの有無を確認できます。更新されていた場合、ここから最新バージョンをダウンロードできます。

ウォッチリスト画面



“ウォッチリスト”はPC用取引システムのウォッチリストと同じ項目で簡単に各種マーケットにアクセスできます。

PC用取引システムでお客様が作成したウォッチリストも表示されます。

各マーケット画面

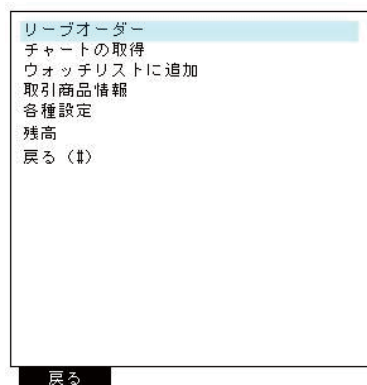
「ウォッチリスト」画面で各項目をクリックすると、各マーケットの銘柄一覧が表示され、売値、買値、変動値をご覧いただけます。注文やチャート表示も簡単に操作できます。上下キーを押すと銘柄変更ができ、選択されている銘柄は背景が白く表示されます。

ポピュラーマーケット			
取引時間	売値	買値	変動値
● USD/JPY	-	94.738 94.747	0.065
● USD/JPY	9480以上に上昇	-	-
03 Aug 09	41.2	47.9	9474.5
● EUR/JPY	-	134.923 134.942	-0.048
● AUD/JPY	-	79.254 79.304	0.135
● EUD/USD	-	1.42424 1.42444	-0.00164
● 日本225種株価指数(当日)	10310 以上に	-	-
03 Aug 09	66.5	72	10348.2
● スプレット・金	-	953.45 953.95	-0.3
取引			その他

STEP ①

- ：緑色の場合はマーケットが開いており、取引可能であることを示しています。赤色（●）の場合はマーケットが閉まっており、お取引ができないことを示しています（ただし、リーブオーダーの発注は可能です。S3 キー「その他」から“リーブオーダー”を選択してください）。
- S1 キー「取引」を押すと「取引」画面（マーケット注文の画面）に遷移します。詳細はP“マーケット注文の出し方”をご覧ください。

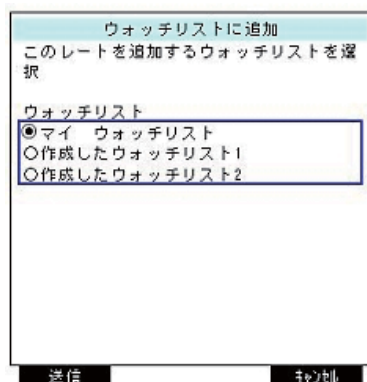
各マーケット画面



STEP ②

S3 キー「その他」の項目 S3 キー「その他」を押すと、選択銘柄に対する機能メニューが表示されます。

- リープオーダー：こちらから新規指値 / 逆指値注文を発注できます。
- チャートの取得：選択した銘柄のチャート。チャートの取得についての詳細は 4-1 をご覧ください。
- ウォッチリストに追加：PC 用取引システムで作成したウォッチリストに登録することができます。作成していなくても初期設定の「マイ ウォッチリスト」に追加できます。



STEP ③

- 取引商品情報：選択した銘柄の商品情報を表示します。
※商品情報が登録されていない銘柄もあります。

保有ポジション画面

「保有ポジション」画面では保有ポジションを一覧で確認でき、清算やリミット・ストップの条件変更などが可能です。

取引期間	最新レート	サイズ	損益
03Aug08	10819	+1.0	-4000
-	948.05	-2.0	\$150.0

STEP ①

- ●●：左側の●はマーケット注文、右側の●はリーブオーダーを表し、それぞれ緑色のときは注文可能、赤色（●）のときは注文不可であることを示しています。
- 取引期間：取引期限がある場合に表示されます。
- 最新レート：現在のレートを表示します。
- サイズ：取引ロット数を買いポジションを「+」、売りポジションを「-」で表示します。
- 損益：取引通貨での損益を表示します。

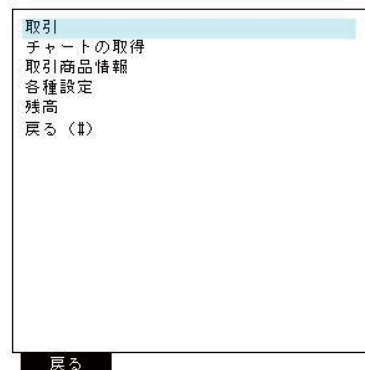
リーブオーダー画面

「リーブオーダー」画面では未決注文を一覧で確認でき、条件変更などが可能です。



STEP ①

- 保有ポジ：「保有ポジション」画面に遷移します。



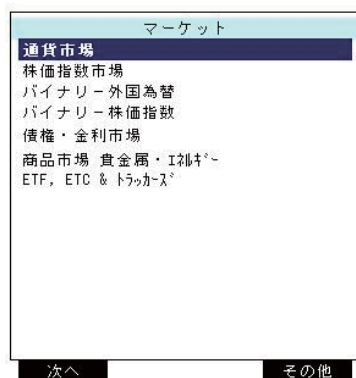
STEP ②

S3 キー「その他」の項目 選択銘柄に対する機能メニューが表示されます。

- 取引：「マーケット」画面が表示されます。なお、設定価格に達しない限り、リーブオーダーが執行されたり、削除されることはありません。

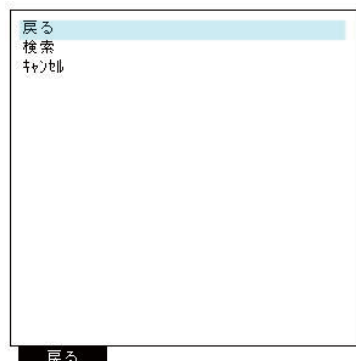
ファイnder画面

“ファイnder” を押すと「マーケット」画面に遷移し、ここから本サービスで提供する全ての市場にアクセスできます。



STEP ①

- PC 用取引システム同様、商品グループおよびカテゴリーで分けられ、銘柄を簡単に表示することができます。



STEP ②

S3 キー「その他」の項目

- 検索：銘柄名で取扱銘柄を検索することができます。詳細は P13 をご覧ください。

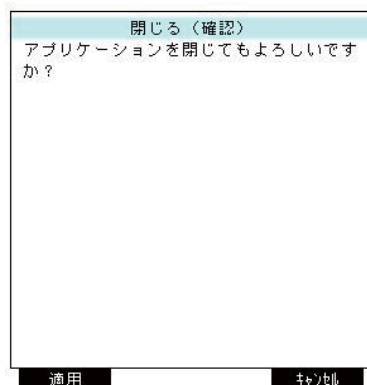
各種設定画面



「各種設定」画面では“Pause Prices”（PART4-4 参照）およびフォントサイズを設定できます。

ログオフ

「ログオフ」を選択すると確認画面が表示されます。S1 キー「適用」を押下するとアプリ一覧画面に戻ります。

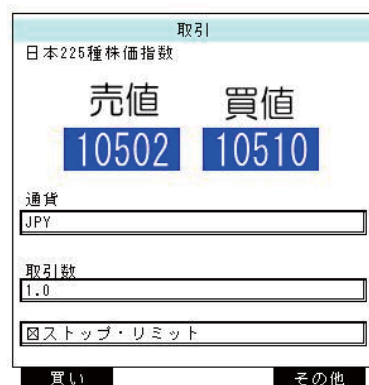


- 終話キーを押下して強制終了しても機能には問題はありませんが、注文送受信中の強制終了などは、お客様の意図しない取引に繋がる恐れがありますのでお控えください。

マーケット注文の出し方

ここではシステムの基本操作をご紹介します。

「取引」画面からマーケット注文の送信ができます。



取引
日本225種株価指数

売値 買値
10502 10510

通貨
JPY

取引数
1.0

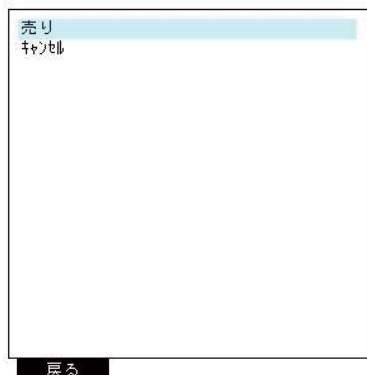
ストップ・リミット

買い その他

STEP ①

- 通貨：取引通貨を表示します。
- 取引数：取引ロット数を入力します。
- ストップ・リミット：チェックを入れると、ストップ・リミットの項目が拡大します。
ストップは通常のストップに加え、ギャランティーストップ、トレーリングストップの機能もご利用いただけます。
- 買い：マーケットレートでの買い注文を送信します。

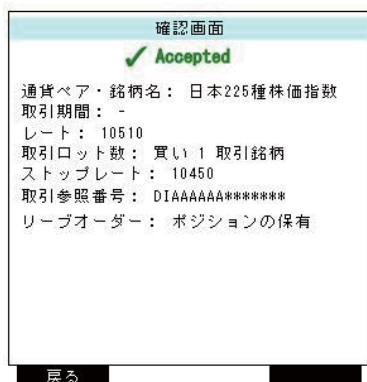
マーケット注文の出し方



STEP ②

S3 キー「その他」の項目

- 売り：マーケットレートでの売り注文を送信します。
- キャンセル：各マーケット画面に戻ります。



STEP ③

- 取引が執行されると「確認画面」が現れ、約定された取引は「保有ポジション」画面に表示されます。

ポジションの清算方法

既存の保有ポジションを清算するには、「保有ポジション」画面から該当する銘柄を選択し、「ポジションの清算」画面を起動します。



- S1 キーガイドスは、買いポジションであれば「売り」、売りポジションであれば「買い」と表示されます。S1 キーを押すだけで簡単にポジションの清算ができます。また、特定の銘柄において 1 ロット以上のポジションを保有されている場合、ポジションの部分清算ができます。同画面で「取引数」のロット数を変更し、S1 キーを押してください。

リーブオーダーの発注方法

「リーブオーダー」は、ご指定のレートにてご希望の銘柄の新規ポジションを建てる注文を出すことができます。

リーブオーダーの発注は、銘柄一覧が表示される画面(PART2-4「各マーケット」画面参照)でS3キー「その他」を押し、「リーブオーダー」を選択してください。



- “注文レート” にご希望の発注レートを、“取引数” にロット数を入力し、買い・売りの別を注文タイプで選択してS1キー「次へ」を押します。
- 「リーブオーダー」の“有効期限”で、注文をいつまで有効にするか指定します。
‘キャンセルするまで有効(GTC)’（注文は、執行されるか、お客様によりキャンセルされるまで常に有効）、または‘...まで有効’（日時指定）を選ぶことができます。
- 注文は「リーブオーダー」画面に表示され、注文が執行されると「保有ポジション」画面に移動します。

条件付注文（イフダン注文）の発注方法

新規ポジションの注文の執行を条件に、当該ポジションを清算するためのストップ・リミット注文を付加することができます。リーブオーダーが執行された場合に、希望されるストップまたはリミット（もしくは両方）の値幅（ポイント数）を指定してください。リーブオーダーにイフダン注文を付加するには「リーブオーダー 2/3」ページで、“ストップ・リミット”にチェックを入れてください。イフダン条件の入力項目が表示されます。注文内容は「リーブオーダー」画面に表示されます。

ストップ・リミットの付加

新規ポジションにストップ注文およびリミット注文を付加するには、該当する銘柄の上で S1 キー「取引」を押し、「取引」画面にアクセスします。“取引数”をロット数で指定したら、取引画面の下部から新規ポジションにストップ・リミットを付加することができます。

- “ストップ・リミット” にチェックを入れると、各注文画面が開きます。ストップ注文を出すには、“ストップ”のボックスに約定レートからご希望の清算レートまでのストップ幅をピップ数にて入力してください。リミット注文は、“リミット”のボックスに約定レートからご希望の清算レートまでのリミット幅をピップ数にて指定してください。
既存のポジションにストップおよびリミットを付加するには、「保有ポジション」画面の該当する銘柄の上で S3 キー「その他」を押して「保有ポジションの条件変更」にアクセスします。

※ 条件変更についての詳細は P10 をご覧ください。

ギャランティーストップの付加

ギャランティーストップは、通常のストップ注文よりもより確実なリスク回避手段です。ストップ注文のほとんどのケースで、注文執行時にわずかながら“スリッページ”のリスクが存在します。

取引
<input type="checkbox"/> ストップ・リミット
ストップ値幅
<input checked="" type="checkbox"/> ストップ保証
割増スプレッド +/- 10
<input type="checkbox"/> ロトレーリング
リミット値幅
<input type="button" value="買い"/> <input type="button" value="その他"/>

- 例えば、変動が激しいマーケットでレートが急落し、お客様のストップ水準を突き抜けて変動してしまった場合、お客様のポジションは（ご指定のストップレートに関わらず）弊社が提供できるその時点でのもっとも良いレートで清算されます。そのレートの差（実際の清算レートと、指定したストップレートとの差）を“スリッページ”と呼んでいます。スリッページは常に発生する訳ではなく、マーケットのボラティリティー（変動の大きさ）に起因して発生するものですが、ギャランティーストップを使うとこのスリッページのリスクを回避することができます。
- ギャランティーストップを付加するには、“ストップ保証” にチェックを入れ、ご希望のギャランティーストップの値幅を“ストップ値幅”に入力し、S1 キー「買い」または S3 キー「その他」から“売り”を選択してください。

トレーリングストップの付加

トレーリングストップを使うと、マーケットのボラティリティからお客様を保護する一方で、利益をもたらしているポジションを自動的に追従することができます。そのため、保有ポジションを常時確認したり、マーケットが有利に変動した際にストップ値を自ら変更する必要がなくなります。

The screenshot shows a trading interface with the following elements:

- 取引 (Trade)
- ストップ・リミット
- ストップ幅
- トレーリング
- ストップ幅
- リミット幅
- 買い (Buy)
- その他 (Other)

トレーリングストップは、次の 2 点を指定します：

- 1：ストップレートとマーケットレートの間で維持される値幅
- 2：ストップレートがマーケットレートを追従する際のステップ値

まず、“トレーリング” にチェックを入れ、“ステップ幅” にトレーリングストップがマーケットレートの追従をする際の値幅をご入力ください。

例：20（ポイント）

マーケットレートがお客様に有利な方向に 20 ポイント変動する毎にストップレートが 20 ポイント移動します。

設定したトレーリングストップの条件を確認したら、通常取引と同様、S1 キー「買い」を押す、または S3 キー「その他」から“売り”を選択します。取引は「保有ポジション」画面に表示されます。

※トレーリングストップの詳細は PureDeal 取引マニュアルの P11 をご覧ください。

レバレッジ

Mobile Dealer も PC 用取引システム同様、ポジションにストップ注文を付加することで高いレバレッジが設定できます。

例えば、スポット・金のポジションを保有するのに必要な標準維持証拠金は、総取引金額のわずか 3% です。仮にスポット・金 1 ロット（取引額：単位にして 100 トロイオンス相当）の買い取引の注文を買値 930 ドルで出したとすると、標準維持証拠金は 2,790 ドルとなります。これはレバレッジ率にすると約 33 倍になります。

一方で、ストップ注文を付加することによって、レバレッジを増大することも可能です。事実上リスクを限定していることになるため、必要な維持証拠金額も減額されます。そして、設定するストップ値が約定レートに近ければ近いほどレバレッジ率は増大します。

なお、PC 用取引システムとは異なり、Mobile Dealer では注文画面上に維持証拠金額の表示はございませんので、お取引の際は“ご利用可能残高”をご確認ください。

保有ポジションの条件変更

保有ポジションに付加された条件付注文の条件を変更するには、「保有ポジション」画面の該当する銘柄の上で S3 キー「その他」を押し、「保有ポジションの条件変更」を選択して「ポジションの条件変更」画面にアクセスしてください。

ポジションの条件変更

947.7

取引参照番号: DIAAAAAAXXXX

通貨: USD

取引数
1.0

リミットレート
880.5

ストップレート
915.5

送信 キャンセル

- “リミットレート”、“ストップレート”に変更する新たなレートを入力して S1 キー「送信」を押します。



新規注文時にストップ・リミットを付加する際は、値幅ではなくご希望のレートを直接入力してください。

確認画面

✓ Accepted

通貨ペア・銘柄名: 日本225種株価指数

取引期間: -

レート: 10510

取引ロット数: 買い 1 取引銘柄

ストップレート: 10450

取引参照番号: DIAAAAAA*****

リープオーダー: ポジションの保有

戻る

両建て（ヘッジ）の設定方法

両建て（ヘッジ）注文をするには、注文を出す際の「取引」画面で“ヘッジ”にチェックを入れます。

両建て（ヘッジ）の注意点

両建て（ヘッジ）には下記のようなデメリットがあり、経済合理性を欠く恐れがございますので、積極的にはお勧めするものではありません。

- 1：資金調達コストおよび配当金相当額のお支払いにより、証拠金残高が減少します。
- 2：売値と買値には差があるため、スプレッドの差を二重に負担する必要があり総損益がスプレッドの分だけ悪化することがあります。
- 3：両建て（ヘッジ）のご注文時に「両建て（ヘッジ）」にチェックが入っていない場合、両建て（ヘッジ）を付加せずに建てた反対売買の保有ポジションが清算されることとなります。
- 4：維持証拠金額は銘柄価格によって変動するため、完全に両建て（ヘッジ）していても余剰金額が変動します。特に日本円の入らない銘柄の場合、証拠金有効残高も変動します。

チャート

Mobile Dealer ではシンプルでパワフルなチャートをご用意いたしました。

チャートを起動するには表示させたい銘柄の上で S3 キー「その他」を押し、“チャートの取得”を選択します。

チャートの取得
チャートの詳細をご入力下さい。

表示するデータポイント
30

スタイル
 線
 ローソク足
 山型チャート
 バーチャート

時間縮尺
 5分
 1時間

送信 キャンセル

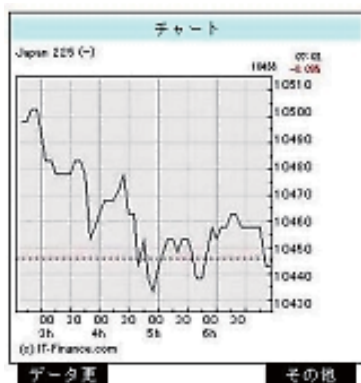
- 表示するデータポイント：チャートを開いた際に表示されるデータの数を設定します。
- スタイル：表示するチャートの種類（線・ローソク足・山型チャート・バーチャート）を選択します。
- 時間縮尺：1つのデータの時間軸を設定します。
例えば、上記のように“表示するデータポイント”を30、“時間縮尺”を5分として“ローソク足”チャートを選択した場合、5分足のローソク足が30本表示されたチャートが表示されます。
- キャンセル：銘柄一覧の表示画面（PART2-4「マーケット画面」参照）に戻ります。



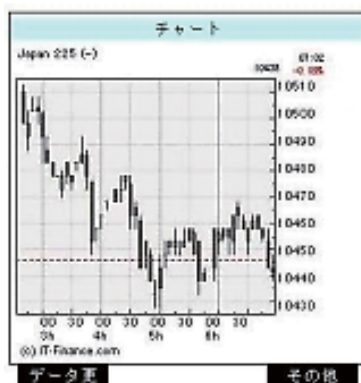
チャートはお客様のポケット通信料を配慮し、自動更新がされない設定になっております。最新のチャートをご覧いただく場合は S1 キー「データ更」を押し、データの更新を行ってください。

チャートの種類

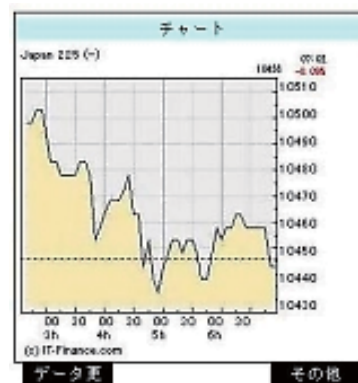
線



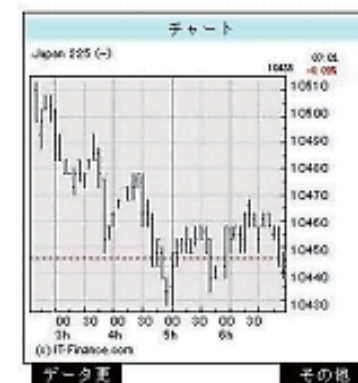
ローソク足



山型チャート

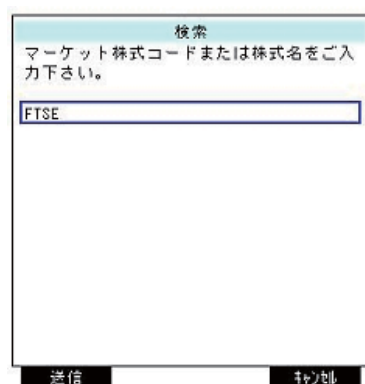


バーチャート



銘柄検索

「マーケット」画面(※)の階層から、銘柄をダイレクト検索することが可能です。



- 銘柄を検索するには「マーケット」画面(※)の階層上でS3キー「その他」を押して「検索」を選択し、銘柄名を4文字以上入力してS1キー「送信」を押してください。なお、検索ができない銘柄もありますのでご注意ください。

※“ファインダー”を押した後に表示される画面です(PART2-7 参照)



取引時間	売値	買値	変動値
●FTSE前日比100ポイント以上の下落			
XXAUG08	0.9	4	-6.0
●FTSE前日比100ポイント以上の上昇			
XXAUG09	0	3	-6.0
●FTSE前日比10ポイント以上の下落			
XXAUG08	42.4	49.1	-6.0
●FTSE前日比10ポイント以上の上昇			
XXAUG08	35.9	41.8	-6.0
●FTSE前日比110ポイント以上の下落			
XXAUG09	0	3	-6.0
●FTSE前日比110ポイント以上の上昇			
XXAUG08	0	3	-6.0
●FTSE前日比120ポイント以上の下落			
XXAUG09	0	3	-6.0

ブラウズ

各市場の銘柄一覧画面の S3 キー「その他」には“ブラウズする”という項目があります。

“ファインダー”では、お客様のポケット通信料に配慮し、お客様が最後に参照した銘柄一覧画面が記憶され、次に“ファインダー”を押したとき直接その画面が開く仕様になっていますが、“ブラウズする”を押すと「マーケット」画面が表示され、市場から銘柄を選び直すことができます。

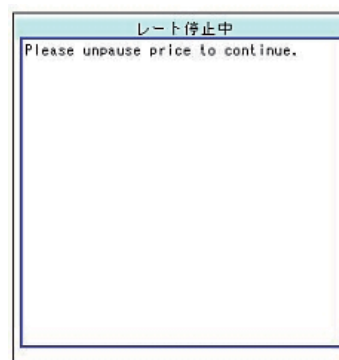
Pause Prices

Pause Prices（ポーズプライシーズ）機能を使用すると、銘柄の価格データの送受信が行われないため、パケット通信料が節約できます。



STEP ①

- 機能を ON するには「各種設定」画面の“Pause Prices”にチェックを入れ、S1 キー「適用」を押してください。



“Pause Prices”機能が ON の状態ではご注文の送信はできません。お取引の際は「各種設定」画面の“Pause Prices”のチェックを外して機能を OFF にしてください。



STEP ②

- “Pause Prices”機能が ON になると、「マーケット」画面などで価格欄が空白（-）となります。

法令に基づく表記

●外国為替証拠金（FX）及び CFD 取引はレバレッジ取引であり、元本や利益が保証された取引ではありません。●損失の拡大を未然に防ぐストップ注文及び強制ロスカットの機能はありますが、損失の限定を保証するものではなく、外国為替、株式、株価指数、商品等の相場急変時等によって証拠金額以上の損失が発生する事もあります。●お取引に必要な証拠金額は次の通りです。FX 取引：(個人 2011 年 7 月 30 日まで) 約定代金の 2% 以上 (個人 7 月 31 日以降) 約定代金の 4% 以上、(法人) 同 1% 以上、商品 CFD：(同 6 月 25 日まで) 同 3% 以上、(6 月 25 日以降) 同 5% 以上、株式 CFD：同 20% 以上、株価指数 CFD：同 10% 以上、債券先物 CFD：同 2% 以上、標準オプションの売り：定額制証拠金、標準オプションの買い・バイナリーオプション・リスク限定オプション：当該取引の最大損失額●未決オーダーにも維持証拠金額が必要です。●売値と買値には差（変動）があります。●各先物 CFD 取引、オプション取引には取引期限があります。●FX 及び CFD 取引の手数料及び発生するコストは次の通りです。株式 CFD の取引手数料、両替手数料、口座管理手数料、出金手数料、ライブデータ利用料、チャート利用料、スワップポイント、調達コスト、配当金相当額、借株コスト●維持証拠金額や手数料、コスト等は必ず弊社ホームページ（HP）にてご確認ください。●契約締結前交付書面を熟読し十分に仕組みやリスクをご理解頂いた上で、ご自身の判断にてお取引を開始して頂くようお願い致します。

【商号】IG マーケッツ証券株式会社 金融商品取引業 関東財務局長（金商）第 255 号 商品先物取引業 【加入協会】日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会 ●弊社企業情報は、本店又は弊社 HP 及び日本商品先物取引協会 HP にて開示されております。●お客様相談窓口、弊社カスタマーサービス部 **0120-25-7734**、日本商品先物取引協会相談センター **03-3664-6243**